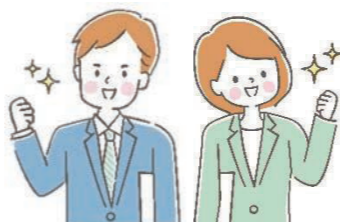




だんじょきょうどうさんかくすいしんじょうれい
「越谷市男女共同参画推進条例」を見てみよう

越谷市では、「男女共同参画」の社会をつくるためのルールとして、2016年に「越谷市男女共同参画推進条例」を定めました。この条例では、次の7つの考え方をもとにして、男女共同参画を進めていくこととしています。

- だれもがひとりの人として大切にされるようにしましょう
 - ひとり一人がもっている性格や長所をいかして、だれもが平等にチャレンジできるようにしよう
 - 性別を理由に差別されることがないようにしよう
 - けっこん相手や付き合っている相手の体や心を傷つけないようにしましょう
 - 男女の体のしくみのちがいを理解し、みんなが健康な生活を送れるようにしましょう
 - 赤ちゃんを産む、産まないなどを決めるときは女の人が自分で決めたことを大事にしよう
- 「女はこう」「男はこう」と役割を決めつけず、誰もが自分のやりたいことを自由に選べるようにしましょう
- 何かを決めるときには、性別がかたよらないよう、みんなの意見がきちんと取り入れられるようにしましょう
- 家族がお互いを大切に、みんなで協力して、家のこと、仕事や学校のこと、地域のことなどに取り組もう
- 学校や地域、家などで子どもに教えるときには、男女共同参画の考え方を意識しよう
- 男女共同参画の取り組みは世界の動きと深いつながりがあるので、他の国と協力しながら進めていこう
- 市と市民、会社などそれぞれが、自分たちが男女共同参画を進めていく「主役」であることを意識して、自分からすすんで役割を果たし、お互いに協力し合おう



だんじょきょうどうさんかくすいしんじょうれいけいはつ
 越谷市男女共同参画推進条例啓発リーフレット(小学6年生)

自分らしくって どんなこと？





「性別」と「ジェンダー」

「性別」というと、多くの場合は男女の体の仕組みのちがいによって分けられます。しかし、私たちの生活の中では、「男だから」「女だから」という、体のちがい以外の理由で区別されることがあります。

- ◆ 「男の子なんだから泣かないの!」、「女の子なんだからおとなしくしなさい」
 - ◆ ピンクや赤は女の子、青や黒は男の子の色
 - ◆ 男の人は外で働き、女の人は家で家事や子育てをするのが当たり前
- などと言われたり、聞いたりしたことはありませんか。体のちがいによる性別に対し、人々や社会が考える「女らしい」「男らしい」というイメージや役割のことを「ジェンダー」といいます。



やってみよう! ジェンダーチェック

- 男子が泣くのは「男のくせにはずかしい」
- 女子が乱暴な言葉づかいをするのはよくない
- 編み物や手芸が好きな男子がいたらおかしい
- 女子ならスカートをはくのがフツウ
- 女子の方が男子より料理が得意に決まってる
- 力仕事は男子の仕事でしょ
- 児童会長や委員長は女子より男子が向いている
- 女子だってサッカーや野球をしたい
- お父さんは仕事でつかれているので休日は何もなくていい
- お母さんが食事のしたくや洗たくをするのは当たり前

「そうだ」と
思うものにチェック
してみよう



このチェックは、数の多い・少ないによって「いい」「悪い」を決めるものではありません。「男だから」「女だから」という理由で役割や行動を決めつけていないか、その「フツウ」はだれが決めたことなのか、ということに気づくことが大切。性別が同じであっても、できることやできないこと、好きなことや考え方まで同じというわけではありませんよね。あなたはあなたのままで なんです。

みなさんの身の回りにある「ジェンダー」にはどのようなものがあるでしょうか。友だちやおうちの人も話し合ってみましょう。



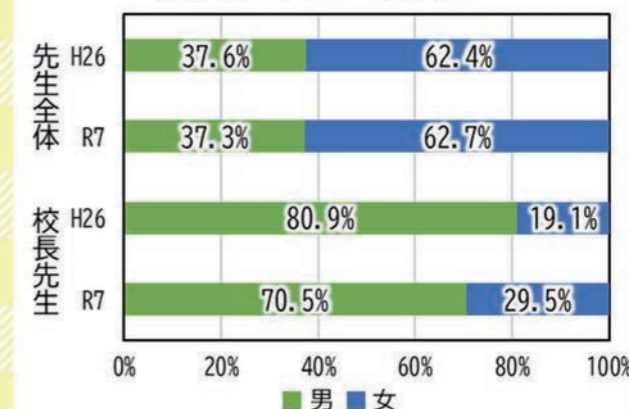
「性別」で比べてみると…

日本の人口は、男女だいたい同じくらいですが、役割や職業で比べると、男女の割合に差がみられます。小学校の先生の場合、全体では女性が多いですが、校長先生は男性が多くなっています。また、医師は男性が多いですが、看護師はほとんどが女性であり、国民の代表である国会議員は男性が多くなっています。

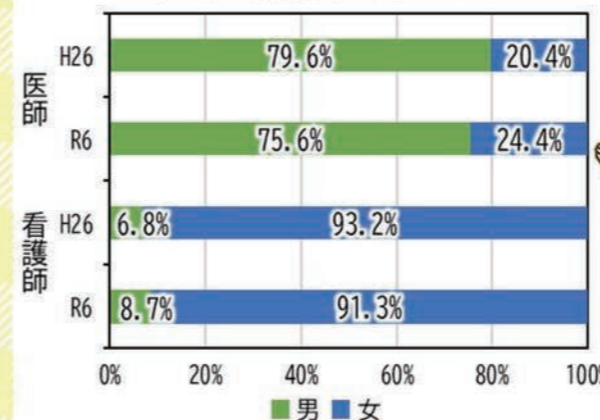
会社や地域などのリーダー的な立場では女性より男性が多くなっていることから、女性が本来の力を発揮できるように様々な取り組みが進められてきています。



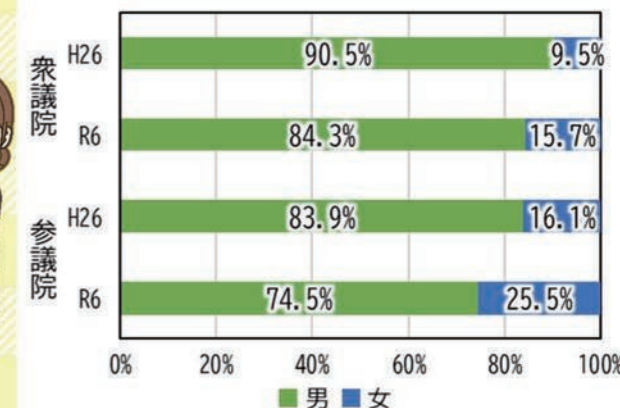
小学校の先生の男女比



医師と看護師の男女比



国会議員の男女比



「男女共同参画」ってなんだろう?

「カワイイ」女の子
「カッコイイ」男の子
はダメなの?



なんでも
男女同じに
すればいいの?



女の人だけ
ひいきして
ズルくない?

全部
ちがうよ!



「男女共同参画」とは、「男だから」「女だから」に関わらず、おたがいの「自分らしさ」を認めあい、協力することをいいます。男女の体のつくりのちがいを無視してなんでも同じにしなければならない、ということではなく、だれもが自分の好きなこと、やりたいことを、自分で選んでチャレンジすることができる、そんな社会を目指しています。

男女共同参画は、一部の人ががんばるだけでは進めることができません。みなさんも「自分らしく」生き生きと暮らせる未来のために、いっしょに考えていきましょう。